

授業科目	地域と暮らし	担当講師	専任教員
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	地域の中で人々が支え合って生きていくことの重要性を学ぶ。 地域特性及び、人々の生活に影響する要素とその関連を捉える。 実際の暮らしから、地域共生社会についてイメージすることができる。		
使用テキスト	系統看護学講座「地域・在宅看護論1」医学書院		
評価方法	課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 人々の暮らしと地域・在宅看護	2	1 人々の暮らしの理解 2 地域・在宅看護の役割	
2. 暮らしの基盤としての地域の理解	1	1 暮らしと地域のかかわり 2 地域共生社会と地域包括ケアシステム	
3. フィールドワーク	2	1 フィールドワーク オリエンテーション 担当地域(加賀市6地域) 2 加賀市の概要 3 フィールドワーク計画	演習 計画書の提出
	9	1 市内バスを利用して、グループごとに地域への見学 1) 自然環境 2) 交通状況 3) 街中の人の賑わい 2 地域住民へのインタビュー 1) 暮らしやすさ、暮らしにくさ 2) ライフイベント 3) 近隣とのつながり 3 担当の地域特性、暮らしについてまとめる	服装 活動しやすい 服装 インタビュー ガイドを利用 する
	1	発表、リフレクション	模造紙は掲示する。

授業科目	暮らしを支える看護 I	担当講師	専任教員
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	在宅看護の対象の特性を理解する。 様々な地域での健康と暮らしを支える看護を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「地域・在宅看護論1」医学書院		
評価方法	試験、課題への取り組み課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 地域・在宅看護の対象	2	1 地域・在宅看護の対象者 2 家族の理解	
2. 健康と暮らしを支える看護	4	1 地域における暮らしの環境を整える看護 2 地域の人々の「もっと健康に」を支える看護 3 地域における「家族の健康」をまもる看護 4 地域・在宅看護におけるライフステージに応じた看護	
3. 予防活動と看護師の役割	8	1 地域での暮らしにおけるリスクの理解 2 地域での暮らしにおける災害対策 1) 「自分の家での災害対策」 2) 発表	演習 課題提出
	1	試験	

授業科目	暮らしを支える看護Ⅱ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	暮らしと健康を守るために活用できる法令・制度を学び、地域の社会資源を知る。		
使用テキスト	系統看護学講座「地域・在宅看護論1」医学書院 系統看護学講座「地域・在宅看護論2」医学書院		
評価方法	試験、課題の取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 在宅看護を展開するための基本理念	2	1 アドボカシー 2 エンパワメント 3 自己効力感 4 パートナーシップ 5 ストレングス 6 プライマリヘルスケア 7 ヘルスプロモーション	
2. 暮らしと健康を守る法と施策	4	1 医療保険・介護保険制度 2 地域・在宅看護にかかわる医療提供体制 3 訪問看護の制度 4 地域保健に関する法制度 5 高齢者に関する法制度 6 障害者・難病に関する法制度 7 権利保障に関する法制度 8 その他の関係法規・制度	
3. 多様な場での看護活動	8	1 おもな地域・在宅看護実践の場 2 地域・在宅看護における多職種連携 3 社会資源調査（高齢者・障がい者） 加賀市及び指定地域の調査 模造紙に地域の特性、資源の場所を記載する	演習 課題提出
	1	試験	

授業科目	家族看護学	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	家族看護の対象を理解できる。様々な対象に家族を含めて看護する考え方を習得し、広い視点で看護をする方法を学ぶ。		
使用テキスト	系統看護学講座「家族看護学」医学書院		
評価方法	試験、課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 家族看護の対象理解	2	1 家族の定義 2 家族構造 1) ジェノグラム 2) ケアチーム 3 家族機能	課題提出
2. 家族看護とは	2	1 家族の看護の特徴と理念 2 家族看護の実践の場面 1) 家族看護が必要となる場面や状況 2) ライフサイクルと家族 ファミリーライフサイクル・ピクチャー (F L P)	課題提出
3. 現代の家族とその課題	2	1 現代家族の様相 1) 家族構造・形態の変遷 2) 家族の多様性 3) コミュニティーと家族 2 現代家族の課題	
4. 家族看護を支える理論と介入法	1	1 家族を理解するための理論 2 家族の変化を把握するための理論 3 家族に変化をもたらすための介入	
5. 家族看護展開の方法	7	1 各領域の家族看護の特徴 事例演習 1) 患児の家族看護 2) 成人期の患者の家族看護 3) 精神疾患患者の家族看護 4) 老年期の患者の家族看護 5) 在宅療養者の家族看護 6) 終末期患者の家族看護 2 発表、各領域の講評	演習  周産期の家族看護については、各看護学で学ぶ。
	1	試験	各担当領域の専任教員

授業科目	在宅療養を支える看護Ⅰ	担当講師	専任教員 非常勤講師(介護支援専門員)
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	地域で療養生活を送る対象を理解する。訪問看護の場面で、様々な状態にある対象の看護について理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「地域・在宅看護論1」医学書院 系統看護学講座「地域・在宅看護論2」医学書院		
評価方法	試験、課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 訪問看護の制度	4	1 訪問看護制度の歩み 2 訪問看護の対象者の特徴 3 訪問看護の利用者と訪問回数 4 訪問看護ステーションに関する規定 5 訪問看護の利用までの手順 6 訪問看護の費用 7 訪問看護サービスの提供 8 ケアマネジメントと社会資源の活用	DVD 視聴「いのちと生活を見護る訪問看護サービス」
2. 地域・在宅における時期別の看護	2	1 健康な時期の看護 2 外来受信機における看護 3 入院時の看護 4 在宅療養準備期の看護 5 在宅療養移行期の看護 6 在宅療養安定期の看護 7 急性増悪期の看護 8 終末期の看護 9 在宅療養終了期の看護	DVD 視聴「高齢者の在宅における多職種連携」No. 1、No. 2
3. 地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働	2	1 地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働 2 医療・福祉・介護関係者との連携・協働 3 医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働 4 地域教材社会を実現するために	
4. 地域・在宅看護のマネジメント	2	1 地域・在宅看護マネジメントとは 2 多様な場における地域・在宅看護マネジメント	非常勤講師(介護支援専門員)による講義
5. 状態別の在宅看護の実際	1 2	1 在宅における認知症療養者への看護 2 在宅における精神疾患療養者の看護 3 在宅における難病療養者の看護 4 在宅における小児の療養者への看護 5 在宅における終末期及び看取りの看護 アドバンス・ケア・プランニング(ACP) 6 事例におけるフェイスシート、ケアチーム記載	DVD、動画視聴「二人の生き方」など 演習

6. 暮らしを支える基礎 看護技術	6	1 暮らしの場におけるコミュニケーション 2 暮らしの場におけるリスクマネジメント 3 暮らしの場における感染対策と環境調整	
	2	試験	

授業科目	在宅療養を支える看護Ⅱ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	地域・在宅看護の介入時期と医療処置を伴う看護について理解する。 様々な段階で、対象者及び家族の意思決定を支援することの重要性を知る。		
使用テキスト	系統看護学講座「地域・在宅看護論2」医学書院		
評価方法	試験、課題への取り組みと課題提出により総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 暮らしを支える生活 看護技術	8	1 暮らしを支える看護実勢易（食事・排泄・活動・ 清潔）	
2. 暮らしの中で行われ る医療処置	21	1 暮らしの中で行われる医療処置の特徴 1) 薬物療法（内服管理、インシュリン注射、疼痛 管理） 2) 在宅経管栄養法と輸液管理 3) 膀胱留置カテーテルとストーマ管理 在宅CAPD管理（連続携行式腹膜透析） 4) 在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法 5) 褥創の管理 2 事例演習、発表	演習
	1	試験	